

事務事業名		徘徊高齢者家族支援サービス事業		会計	介護保険	実施区分			
H28担当課等名		長寿支援課	H28係等名	長寿支援係	事業種別	政策	開始	12	終了
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
		施策	35	高齢者福祉の推進					
目的	対象(誰・何を)	徘徊のおそれのある高齢者			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	介護者の精神的、経済的負担を軽減するとともに、要介護者が快適に安心して暮らせる				徘徊を発症するおそれのある高齢者(認知症自立度Ⅱ以上、日常生活自立度A2以下の介護保険認定者)		1880	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせる高齢者の割合							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	事業の利用者数/対象者数×100			0.5	0.5	0.5	0.5	
	定性目標								
事業概要	徘徊のおそれのある高齢者の介護者に対して、位置情報検索システムを利用できる携行器を貸与することで、徘徊高齢者の安全確保と介護者の精神的・経済的負担軽減をし、在宅介護の継続及び向上を図る。携行器貸与のための初期費用7,000円と交換用バッテリー代2,100円を補助する。個人負担は毎月の利用料540円(位置情報取得した場合別途情報料)								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	位置情報検索システムの貸与				利用者数		3人		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		63	87	26	87	地域支援事業交付金の任意事業 H25.26 国39.5% 県19.75% 市19.75% 1号保険料21% H27~ 国39% 県19.5% 市19.5% 1号保険料22% (そ)徘徊高齢者家族支援事業利用者負担金			
国庫支出金		16	14	1	14				
県支出金		8	7	0	7				
起債									
その他		23	51	24	51				
一般財源		16	15	1	15				
人件費計(千円)②		72		0					
正規職員所要時間		20							
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		135	87	26	87				
事業内容・目標達成状況の振り返り	新規利用申込みの相談はあるが、認知症高齢者自身が携行器を持つことを受け入れていただけない場合があるなど、新規利用者の大幅な伸びはない。平成26年度利用者数は合計で5件。(対前年3名増加)。								
改革改善の考え方	①問題点	現行システムは便利で安全管理上有効であるが、携行器の大きさや重さなど認知症高齢者が持ち歩くには不便がある。(携行器も以前よりは小さく軽くなり利用し易くなっている。)							
	②改革提案	徘徊中に外してしまわないような更なる商品開発が望まれる。認知症相談やケアマネとの相談の中で、上手に身につけてもらう方法を模索する。							